市長も熱心に耳を傾ける

初の市政懇談會盛況

〃私たちの聲を聞いて…〃

市民のなまの声を、直接市政に反映し、苦情を処理して、日常生活をより豊かに、文化的につくりあげるために、市街地ではじめての市政懇談会を、十月十一日午後一時三十分から、労働会館で、市側から橋本市長をはじめ、各課長全員と市民側から、市民組織団体代表、地域代表、一般市民を加えた約六十名が、出席して開かれました。

この日、青山市民課長の司会で、始めに橋本市長から、市政運営について市民の指導と協力に感謝の意を表し、市政は市民のものであり、われわれは常に市民の幸福と繁栄を図るために何を与え、何を為さんとするか、その真意が、すみずみまで到達していないことが多いように感じている。

生きた市政を行う上に、市民の声なき声に耳を傾けこれを吸い上げ、市政に強く反映するために、こうした市民とひざつき合せた懇談会を、今後も数多く地域ぐるみで開催し、市民と直結した市政によつて、明るい街づくりの実現を期する旨の挨拶があつて、鷹橋総務課長から、市政の現況特に、

△市庁舎建設計画
△留萌港整備拡充計画
△留萌川改修
△北岸船溜り
△南岸壁改修工事

などについて説明報告し、続いて、質問及び苦情の処理に入りました。

ここでは、漁家救済策、防火策、デイゼルカーの導入、企業誘置、観光、国民健康保険事業から、更に広報配達を早めに、ごみ処理回数を多く、下水溝の改善を、など、日常市民生活に直結した問題を卒直に出されました。

この熱心な問題に対して市長、各課長から夫々くわしく説明やお答えをしたりその場で、すぐ解決できたものもありました。

このように、苦情処理の問題は、生活に直結しているだけに、非常に活発に出されておりました。

次に、民主的な市民のための「市民組織」をつくることについては、参会者の殊んどが、活発な意見を交わし合いました。この結果殊んどが賛成の意見でありました。

従つて、この市民組織は日常の集団生活を行う上に町内の福祉繁栄を図るため、止むに止まれぬ気持から、生れてくるべきものであろうと云うことであります。

しかし、この市民組織の育成に当つて、△既存の団体と、附近住民との提携をどうするか、△必要性は充分認識しているが、その足がかりに苦慮している。など も現実的な隘路（むずかしさ）も出されましたが、これは組織の育成指導の中で解決することとして、地域のより明るい街づくりを目標に、早急にすすめるべきだということでありました。

このようにして、市政懇談会は参会者全員が、市政の発展と、市民の幸福と繁栄をもとめて、建設的に懇談されたことは、市民のための生きた市政をすすめる上に、非常に有益であり、且つ数々の貴重な資料を与えて頂きました。

最後に、青山市民課長から、今後も更に各地区毎に市民に知らせる活動、市民の声を聞く活動を積極的にすすめ、市政と市民が、そして市民組織が直結して、直に市民の幸福と繁栄を追求して行きたいので、市民の声をきく懇談会、市民組織の結成準備、切り替え準備などの計画があるときは市民課に連絡受け次第、即刻お伺いし、御相談と、あらゆる協力を申し上げたいので、地区住民共々協議の上、隣保相互扶助の上に立つてすすめられますよう御要請し、午後四時三十分、心も新たな中に、閉会致しました。

一番おいしい
みそ
一番よい酒
千歳鶴

写真は熱心に催された市政懇談会
—労働会館で—

市民組織めぐり

五十嵐町親交会

電波にのつたおかあさん（コーラス）

樂しく住みよい地域をねらう

会の誕生

昭和三十一年秋の市民体育大会で五十嵐町は千鳥町南町と一ブロックを編成して優秀な成績をおさめた。その祝賀会の席で、若い人達のもり上る力で「町内会を作ろうじやないか」と大変な熱意のある話が交わされた。やがて「町内会結成準備会」が町内の木村さんの宅で開かれ、橋本市長、小坂茂さんはじめ南町振興会の方々、東光婦人会長の藤田さん等多数の人達の臨席の上の指導助言もあつて町内会発足の運びとなつたわけであります。

「親交会」の名称について

会の基本的な目標は、互に笑顔で誰もが親しみ合い、日常生活を楽しむことにある。「楽しい」「住みよい」部落にしようと云う会員の希望が期せずして一致した。「五十嵐町親交会」という名称はこうして生れたものであつた。

その足跡

この会の生れる以前に婦人の人達の力で中央道路に街灯が設置された。この会では五十嵐町に住む人は老若男女皆会員であるがことに婦人の人達の会に対する運営の力は高く評価されなければならないと思う。「町内運動会」「映画会」「盆踊大会」「舞踊練習会」「コーラスの会」「少年部の諸活動」等々と際限がない。中でも「ラジオ体操の会」はNHKと郵政省簡易保険局から表彰の栄誉に浴した。又「コーラスの会」はNHKを通じて道内に放送された。その他「街灯の増設」「市との連絡」等もあげられる。

公民館設置

会発足当初からの懸案として「公民舘の設置」ということがあつた。僅か九十二の世帯にとつてこのことは夢に等しい希望であつたところが家主である二宮さんの御同情と会員の小林さんの献身的、犠牲的な御努力が実を結んで公民舘の実現を見たのであります。勿論市からの助成もありましたし、市長はじめ市内有志の方々の莫大な拠金や会員一同の寄附金と建設関係業者の物心両面にわたる援助もあつたのでありますが要するに会員の結束の力がこの難事を成し遂げたのであつた。

■今後の理想

民主的な親交会

日本の地域社会の一大欠陥はボスによる支配である本会は全く平等感の基盤の下に上下の差別のないもので、会員自らの手で会は運営される。

○青少年の善導

青少年の善導が重大な社会問題となつている今日、地域社会の協力は最も効果的であると思う。

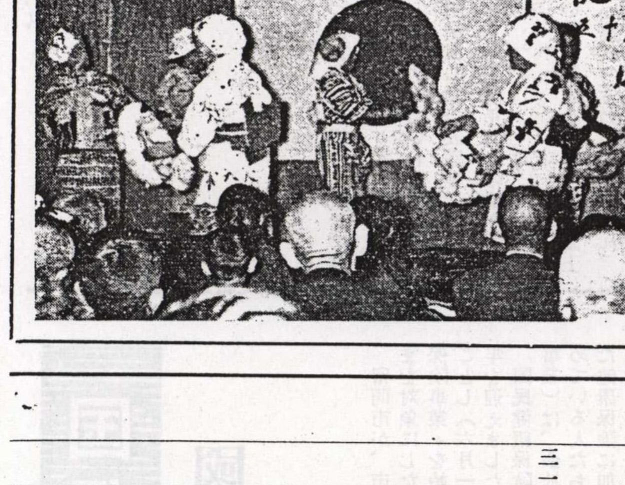
○婦人の活動

家庭婦人の人達のリクリエーション活動、文化活動には大きな期待がもてる。先月も婦人の人達の主唱で町内の「敬老会」を催したが、老人の方達に非常に喜んでもらえました。

○ラジオ体操の普及徹底

年間を通じ毎日実施することをはかるために、家庭内に於ける家族ラジオ体操の普及はこの会だけでなく市内一般の実施を希望したいものである。

■次は南町新興会を紹介します。



写真は婦人部主催の敬老会

明るい生活と郷土のために

簡易保険に加入を

〃簡易保険週間〃が、十月一日から催されました。

簡易保険は、大正五年十月一日に始められたもので国民が簡易に利用できる生命保険を安い保険料と、確実な経営で運営し、国民の経済生活の安定など、その福祉をはかるためのものです。

しかも、この保険事業がわたくしたち郷土の公共事業に大きな役割をはたしていることは、あまりよく知られていないのではないでしょうか。

つまり、留萌市が学校を建てたり、病院の設備を整えたりする事業に貸したのは、三十四年には六千二百二十万円、三カ月の期限で資金繰りのため約四千七百万円を現在貸しています。

ところが、留萌市のみなさんが本年加入したのは、九千五百三十件。四百五万円といゝますから、相当額が地元に還元されていることになります。

しかし留萌市での普及率は、全国や全道に比らべて非常に低く、人口千人に対しての加入は、全国四百八十七件、全道四百三十七件なのに、留萌市は三百四十七件にとどまつています。

わたくしたちの生活安定のための保険であると同時に、わたくしたち郷土の発展に役立つ簡易保険に一人でも多く加入して、明るい郷土を建設するようにしましょう。（留萌郵便局）

溫かい贈り物

十月　福祉事務所扱い　（敬称略）
■老眼鏡八個　開運町二　太陽眼鏡留萌支店
教育委員会扱い
■十万円　港町二沢井政一　（学校図書購入費に）

留萌市勢回顧表

十四回

年号	年	史実
明治	三〇	○留萌漁業組合程度外の増網は漁獲高と比例しない事を認め、現在数を限度としてこれを制限することとした。然るに一部漁業者はこれを不当として同志数百名を統合した紛擾をかもすに至つた。依つて漁業組合はこれが調停のため鯡予備網一千枚一漁期間の許可を請願し、その認可を得て結局八千五百枚を以つて制限することとした。
		○タラバガニ漁獲あり、但し単に自己食用に供す。海深二、五ヒロの場所に群来し海底を覆うてホフクする有様は頗る壮観であつたと言う。
		○駅逓太刀川兵助、官馬六頭、宿舎一棟、三十三年に敷地三十坪、畑地十町歩、放牧地百町歩の貸下げを受け度く、永年勤務の功労顕著の故をもつて、無償給与される。
		○天然痘患者発生、田中ワカなる者罹病したが軽病に終る。
		○留萌原野植民地第一号より第十三号に至る畑作物、夜盗虫が発生甚だしく被害甚大。
		○この頃までは、藤山幌糠方面の平坦地に入つて来た移住者たちは、僅かに留萌川岸に経路を設けて、これを唯一の通路となし留萌と交通していた。また幌糠から南に折れて恵岱山別石狩へと出る径道も極めて稀に利用されていたのであろうことは、察するに難くない。
		○深川、留萌間鉄道予定線、測量着手。
		○既田　三町 既畑　三百三十七町五反 新田　五町 新畑　六百五十四町六反 年度末耕地　田　八町一反　畑　九百九十二町一反 自作地　田　八町一反　畑　八百五十八町一反 小作地　田　なし　畑　百三十四町
		○火消組を公設、消防組に改め組織の充実を図る。
	三一	○万国郵便条約に調印
		○戸長　安達応助（九代戸長）
		○戸数　五百八十四戸　人口二、七三八人
		○二月　陸軍少佐菊地節蔵、深川村屯田歩兵第一大隊を引卒して、冬期雪中行事演習のため積雪を利用し、石狩国妹背牛から北竜村により、今の筑紫、沼田を経て山に登り峠下に出て藤山、大和田を経て留萌に到着。
		○六月　鬼鹿村大火　一〇九戸焼失
		○六月　留萌小学校に一カ年の高等補修科設置決議。
		○九月　全道未曾有の大洪水、大惨害を極む
		○十一月　衛生組合設立さる（初代組合長 藤田隆造）
		○鯡漁獲高　一万八千七百五十七石（十七万一千四円）
		○水稲　八町七反　一〇四名 陸米　五反　六名

明るい生活

急速に進む校舎の新築

知恵おくれの子供にも希望を

質問＝戦後、義務教育の充実がさけばれてきました。留萌市の場合、市長も教育の強化、充実に力を入れると公約していましたが、はたしてどの程度の力を入れているのでしょうか。

出題者　留萌市本町
斉藤澄江さん　主婦（25）

〃われわれは、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にして、しかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育を、普及徹底しなければならない〃

これは、教育基本法にうたわれている前文の一節ですが、憲法第二十六条にも、教育を受ける権利と義務が決められていることは、みなさんも既にご存じのことと思います。

留萌市では、これに基づいて教育行政の充実に力を入れていますが、とくに市長は公約の一つとして、これを大きくとりあげています。

限られた紙面のなかで、すべてを説明できないのが残念ですが、最近の教育行政を重点的にとりあげてみました。

三十五年度の教育行政方針のなかでも、一番最初にとりあげているのが、学校教育の改善充実をはかることです。

その主なものは
不正常授業の解消
老朽危険校舎の改善
防火施設設備の改善
教育諸設備の改善
へき地教育施設の改善
学習費の父兄負担の軽減
特殊教育の充実
現職教育の充実
学校保健設備の改善
学校体育設備の改善
児童生徒の健康管理の充実
学校給食の推奨
などがあります。

留中分校で
教室難を解消

留萌市の小中学校生徒はこゝ数年、激増の一方で、このため教室数が非常にたりなくなつてきています。

そこで、三十年に緑丘小学校を新築するとともに、本年は元町地区に、留萌中学校の分教場（六教室）を新築し、一、二年後には独立校にすることになつています。

また古くなつた校舎は、老朽危険校として科学的な調査を進め、危険度によつて年次計画を樹て、改築を行い、礼受小学校、藤山小学校が近代的なブロック二階建校舎にかわりつつあります。

こうした教室数の増加は生徒数の一時的な傾向からみて、数年後にはあまるから必要がないのではないかという一部の考えがありますが、現在のように急激な増加はないにしても、いまの教室数では、当然まにあわず、しかも今後重点的に進められる予定の特別教室（たとえば理科教室、裁縫室など）にあてられますので決してむだではないわけです。

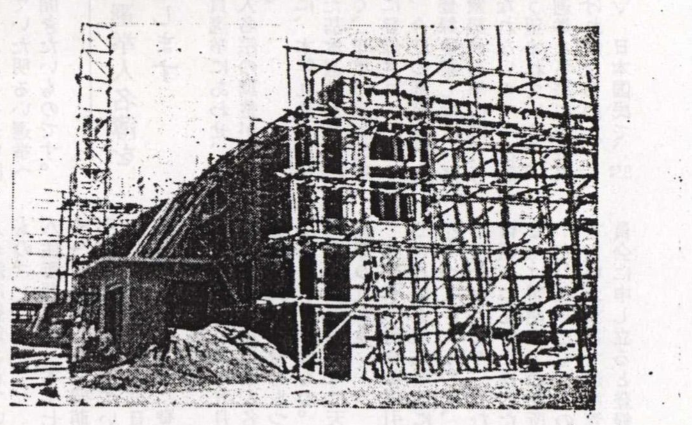
知恵おくれの子供に
職業教育を

戦後の教育は、生徒それぞれの能力、特性をいかすように行われていますが、こうした点から、精神薄弱児、いわゆる知恵おくれの子供たちを、明るい気持ちの子供たちに教育することも忘れられません。

そこで、三十二年に港南中学校に設けられた特殊学級は、父兄の人たちからも非常に喜ばれ好評を受けて第一回の卒業生を職場に送ることができました。

この学級では、生徒の特性を生かすために、職業教育が行われていますが、いままであつた木工機械のほかに、印刷機械一式が備えられ、子供たちも、いままでみられない明るさをとりもどし、働くことを喜こぶようになりました。

その他港南中学校に一学級が増えて二学級、留萌小学校にも一学級、そして明年には東光小学校に一学級が予定され、二、三年後には留萌中学校にも一学級開設される計画です。



学校給食を
年次計画で

この年令の子供たちは、伸びざかりです。すこやかな子供を育てるために、学校給食の完全実施があげられますが、財源の問題もありますので、一度に実現することに非常にむづかしさがあります。

いま行われているのは、凶漁地帯の礼受小学校ですが、生活に困つている家庭の子供たちには市から年間十二万円（三十四年度）の補助を出して喜ばれています。

今後も年次計画を樹て全校で行われるようにしたいと思つていますが、とりあえず、明年は、港北小学校でも行う予定です。

困窮児にパンと
教科書を無料で

このほか、国の補助による牛乳給食や、生活が苦しいため、昼の弁当をもつてこれない子供たちへのパンの無料配給も行われています。

なお生活が苦しい家庭の子供たちには、新学期に、教科書を無料で配布、憲法で定められた教育の機会均等に努力しています。

このほか、学校図書室の充実、教材教具の整備充実、教員住宅の確保、体育の奨励などもありますが、のちの機会に説明したいと思います。

なお、ことしは、文化の日を前にして、留萌小学校が八十周年、港南中学校が十周年の開校記念を迎えた意義深い年でもあります。

今後さらに学校教育の充実に情熱を注ぎ、次代の郷土留萌を背負つてたつ、立派な子供たちを育ててゆきたいと思います。

ことしから
藤山小学校も新築

十月十二日学校関係の建築工事入札が行われ、次のように決まりました。

○藤山小学校新築工事
留萌コンクリート工業株式会社と、七百三十五万円で随意契約。

○留萌中学校分教場新築工事
株式会社留萌建築公社と七百十五万円で随意契約

○礼受小学校屋内運動場新築工事
興北建設株式会社と二百六十九万八千円で随意契約

いずれも十二月二十五日完工予定です。

いまの場所に建築

市庁舎　港の見える高台が最適

留萌市の総合新庁舎は、現在の場所に建てられることに決まりました。

市の総合庁舎は、市民へのサービスと、事務の能率をはかるため、長い間の懸案でしたが、市の熱意が認められ三十五年度から三カ年計画で、鉄筋三階建に新築されることに決まつたものです。

この庁舎の場所は、市民の声が反映されなければならないと、十七名の留萌市庁舎建設委員が選ばれ、熱心に調査、検討した結果、現在の場所が一番適当であるとの結論が出されたことによるものです。

委員会の結論の要旨は次の通りです。

①現在の場所は、都心からやゝかたよつている、とは思われるが、市庁舎は市政のセンターであるから、市街をひと眼でながめられる高台地区にあるのが、一番望ましい。

その点、留萌港をみおろす現在の場所が、港湾都市として将来飛躍的に発展しようとする留萌市の特殊性からみれば、必らずしもかたよつているとはいえない。

②留萌市が発展してきた歴史と人口の増加率などから将来計画を考えるのには一応十年くらいの計画をたてるのが適当であると思われる。過去の実情にあわせても、今後十数年の間に、急に都心が移動するとは思われない。

③留萌市は、財政再建団体（赤字）であるだけに、多額の市費を土地の買収にあてることは、非常にむずかしい。その点から鉄筋高層建築に耐える地盤をもつている現在の場所（市有地）が最も適当である。

④しかし全市民が、現在の場所が理想の場所であるとは考えていないと思うが、出来るだけ多くの市民の声を聞くとともに、委員会としても、あらゆる角度から慎重な検討を加えた結果、長い間の重要な課題であつた新庁舎を一日も早く実現するためには、いろいろな現在の情勢からみて、いまの場所が適当である。

明年は集團發生か

小児マヒ　みんなで防ごう

留萌市を中心とする留萌地方の小児マヒは、その後散発的に発生、十月二十日までに十四名の患者を出し一名が死亡しています。

明年は、市内に小児マヒが集団発生するのではないかと心配され、市保険課でも、その対策に一生懸命です。

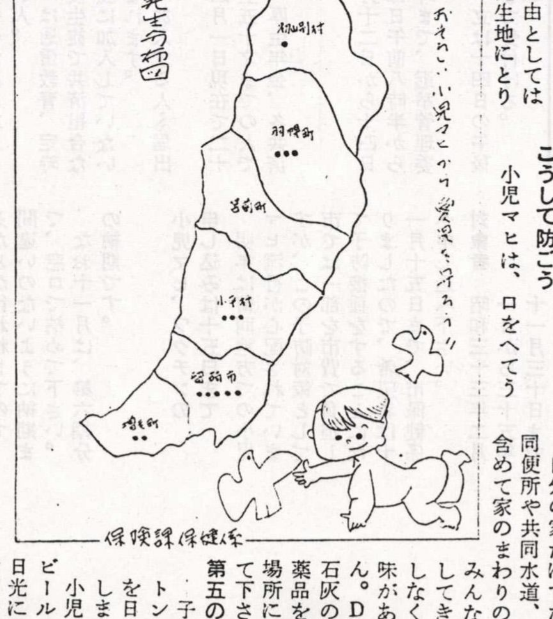
集団発生の理由としては

■留萌市が、発生地にとりかこまれてしまつた。

■病源菌は、大人がまき散らすことがわかつた。

■市民に免疫性が少ない。

ことなどが大きくあげられその予防策として、清潔にすることが一番大切だといわれています。



小児マヒは
こうして防ごう

小児マヒは、口をへてうつりますから、その予防は赤痢などとかわりません。

第一の心がけ—抵抗力をつけましょう。

子供の抵抗力が弱いと、発病の危険が大きくなります。子供に充分睡眠をとらせ、生水、なまもので胃腸を弱らせないように注意しましょう。

第二の心がけ—子供を人のたくさん集まる場所につれていかないように

人の密集しているところは、ビールスがはびこつていると考えなければなりません。ですから旅行などはしばらくひかえましょう。

第三の心がけ—手をよく洗いましょう。

小児マヒも赤痢と同じように、口からバイキンが入つてきます。外出から帰つたときは、ウガイをしましよう。便所から出たときは必らず手を洗いましょう。

手洗いは流れる水で石けんをつけてよく洗つたあとで一～三%の逆性石けん液の中に三十秒以上つけましよう。

第四の心がけ—はえの発生を防ぎましょう。

自分の家だけでなく、共同便所や共同水道、どぶを含めて家のまわりの環境もみんなで協力してきれいにしなくては意味がありません。DDTや石灰のような薬品を不潔な場所に散布して下さい。

第五の心がけ

子供のフトンや下着を日光で干しましょう

小児マヒのビールスは、日光に弱いので、幼児をもつ家庭では、常にフトンや下着の日干しをしましょう

熱が出たら—すぐ
絶対に安静—医者に相談を

発熱した場合、一番大切なことは絶対安静です。そうすれば手足のマヒの進行をくいとめることができることもあります。そしてすぐ医者に相談して下さい。

一人の小児マヒ患者が発生した場合、その周囲の百人から二百人が、感染していると考えられますが、その中の十人から二十人は熱を出しただけで終わるようです。

だから、マヒのきた人は大変運が悪かつたともいえるのですが、六カ月以上四才未満の子供さんが、もし熱を出したら一応小児マヒでないかと考え、絶対安静にしておくことです。あわててあちこち連れてまわることはもつともよくありません。